**『啐啄』～　”未来の瀬田中”を築いて**

**いくということ　～　11月号**

**瀬田中学校　校長　今井　弘樹**

**☆彡**　 **10月10に佛教大学の原先生(原先生は文部科学省の生徒指導関係の委員もされ、全国の多くの学校を見てこられた方です)を講師にお迎えし、3、4校時に全校生徒を対象にし、SNSの使用にあたっての危険性について1時間を超えるお話をしていただきました。原先生は10時頃、瀬田中に到着され、「初めて瀬田中に来ることになったので、どんな生徒たちなのか気になって、事前に授業風景を見せてもらえないかなと思って・・・・・・」とおっしゃられたので、教室を訪問していただきました。原先生の瀬田中訪問は授業参観のこの時から始まりました。**

**☆彡**　**本号では、講演のSNSの危険性に関する内容ではなく、原先生から皆さんにもお伝え下さいというお話も頂いておりますので、講演後の先生の感想を紹介させて頂きます。**

◯　840名もの生徒たちが1時間以上、しっかりと、よく話を聞いてくれました。講演の間、生徒たちの態度・様子には波が小さくなったり大きくなったり変化ありましたが、これは当然のことで、聞いてないように見えても実は聞いてくれていたと思います。瀬田中の生徒たちは最後まで聞く姿勢を保っていました。これは誇ってもいいことです。

◯　瀬田中の生徒は、ここはしっかり聞くところとそうでないところを感じて上手に聞いていました。これは都会型の中学生の典型だと感じました。都会型というのは、1、2年生は成長過程で揺れることがあっても、3年生になると大きく変わる。自分の振る舞いの仕方を考えて成長する。こうした傾向が強いことを言います。

◯　一般的に古い地域と新しい地域で構成される学校は、学校、地域、家庭でも2つの文化や価値観の衝突があって、瀬田中のような学校は、何かをきっかけにして一気に崩れていくことが多いと言われていますけれども、瀬田中学校で、生徒たちが今日見せてもらったような生徒集団に育っているのは、地域・家庭・学校の教育力だと思います。

◯　3年生がしっかり育っていて、最後まで一番しっかり聞く姿勢がありました。次は1年生。次は反抗期に入り心の揺れが大きく難しい2年生。これからどう3年生に向けて成長していくかが楽しみだし、これまで通り保護者、地域の方々、先生方の支えがあって、育っていってくれると思っています。たくさんの生徒が先生に顔を向けて、時には笑いながら話を聞いている授業がありました。先生方にはこの教室のように生徒たちが何か大きく包まれているような指導を大切にして下さい。

◯　瀬田中学校の生徒はもっともっと先生方の指導でよくなっていく、伸びしろのある生徒たちだし、いい学校だと思いました。生徒も明るく人懐っこく、生徒たちが変わっていく姿を見せてくれるので、先生たちもやりがいがある学校だと思います。

**・・・・と最後には、私たち教職員に対しても貴重なメッセージを頂きました。こうして初めて瀬田中学校の生徒たちと出会われた方から子どもたちへのお褒めの感想とエールをいただいたことは、大変ありがたく嬉しく思います。ぜひ子どもたちと一緒に”未来の瀬田中”を築いていきたいと、強く願っています。**

**☆彡　秋季総合体育大会は10月20日から開催されました。全ての選手の応援に行けませんでしたが、また、次の機会にはぜひ行かせてもらいたいと思っています。**

**☆彡　　ほとんどの生徒たちにとっては、初めての公式戦でした。試合の結果はともかく、皆、一生懸命自分のベストのパフォーマンスを発揮しようと、頑張ってくれている姿に出会うことができ、何度も感動させてもらいました。こうした生徒の成長した姿は、子どもたちの汗と努力と気持ちの賜物です。本当にありがとうございました。スポーツである以上、勝ち続け一度も負けなかったのは優勝した者だけです。負けた生徒たちと出会うと、相田みつおさんの『負ける練習』 （☆参考資料 ) という詩を、いつも思い出します。負けを自分の中でどう受け入れて、次にどう生かすのか。このことの方が大切なことだと、生徒たちから教えてもらいました。**

**☆参考資料**

**『負ける練習』　相田みつお　より**

**受身とは投げ飛ばされる練習**

**人の前で叩きつけられる練習**

**人の前でころぶ練習**

**人の前で負ける練習です。**

**(中略)**

**長い人生には**

**カッコよく勝つことよりも**

**ぶざまに負けたり**

**だらしなく恥をさらすことのほうが**

**はるかに多いからです。**

**(中略)**

**失敗を気にするな**

**負けるときにはさらりと負けるがいい**

**口惜しいときには「こんちくしょう！！」と、正直に叫ぶがいい**

**(中略)**

**若者よ**

**頭と体のやわらかいうちに**

**受身をうんと習っておけ**

**受身さえ身につけておけば**

**何回失敗しても**

**すぐ立ち直ることができるから・・・・・・**

**そして**

**負け方や受身の**

**ほんとうに身についた人間が**

**世の中の悲しみや苦しみに耐えて**

**他人の胸の痛みを**

**心の底から理解できる**

**やさしい暖かい人間になれるんです。**

**(略)**